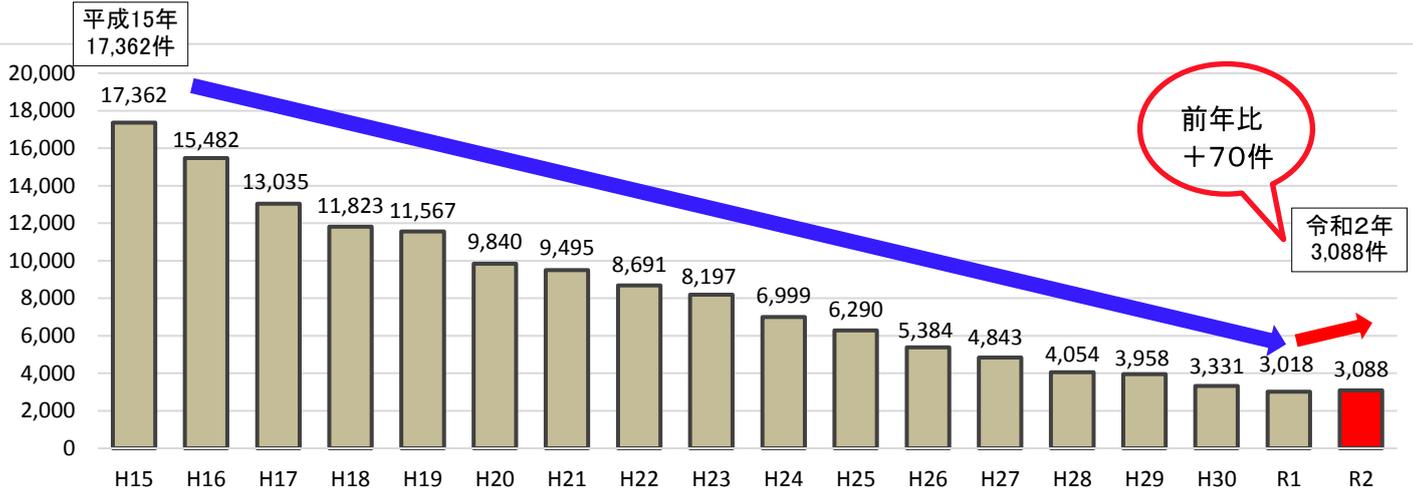


令和2年 大分県の治安情勢



◎ 刑法犯認知件数の推移

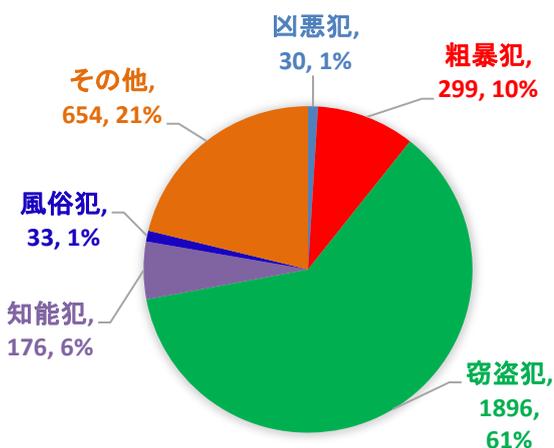
※「刑法犯」とは、「刑法」に規定する罪などをいいます。
※認知件数とは、警察が発生を認知した事件の数をいいます。



大分県の刑法犯認知件数は、平成15年1万7,362件をピークに、平成16年から減少を続けていましたが、令和2年には前年比+70件と増加に転じています。

◎ 罪種別・手口別の犯罪発生状況

(1) 令和2年中の罪種別犯罪発生状況の内訳



最も多く発生したのは、自転車盗や万引き、住宅対象侵入窃盗などの「窃盗犯」で全体の約6割を占めています。
「窃盗犯」は前年から約5%減少(-92件)しましたが、一方で「知能犯」が約42%(+52件) その他刑法犯が約20%(+111件)と大幅に増加しています。

☆ 知能犯で増加した犯罪は「詐欺」

特殊詐欺の発生状況は依然高い水準で発生しているほか、「ネットショッピング詐欺」が増加しています。



☆ その他刑法犯で増加した犯罪は「器物損壊」

器物損壊とは、他人のものを壊したり、傷つけたりする罪です。その中でも、駐車中の車を傷つけられる事件が約7割を占めています。

(2) 令和2年中の主要窃盗犯罪発生状況

窃盗犯全体は1,896件(前年比-92件)

罪名	件数	増減
自転車盗	440件	-145
オートバイ盗	32件	+8
万引き	472件	+11
車上ねらい	189件	-9
自動販売機ねらい	25件	+8
住宅対象侵入窃盗	67件	-28

自転車盗が大幅に減少した一方で、万引きは増加傾向です。



(3) 令和2年中の無施錠率

※「無施錠率」とは、侵入盗、乗り物盗、車上ねらいの被害のうち、鍵をかけていなかった割合のことを言います。

罪名	無施錠率	全国比
自転車盗	66.6%	+5.5%
オートバイ盗	50%	+22.7%
自動車盗	50%	+24.7%
車上ねらい	51.9%	-12.5%

乗り物盗の無施錠率は全て全国平均よりも高くなっています。

しっかりカギをかけましょう！ 

還付金詐欺に注意!!!

昨年12月、還付金詐欺の被害が7件発生しています。

◎ 実際に被害が発生した還付金詐欺の手口についてご紹介します。

●●市役所健康保険課の▲▲です...



市役所職員を名乗る男から、「〇〇さんの保険料の戻りがあります。今からそのお金の振り込みの説明が銀行からあります。」と電話がかかってきます。

その後、金融機関職員を名乗る男から電話がかかり、「今から振込をしますので、私が指定するATMまで行ってください。」などと言われ、被害者は指示されるがままに、指定されたスーパーのATMまで行きます。

そこで、金融機関職員を名乗る男から電話でATMの操作を指示され、そのとおり操作をしたところ、逆にお金を男の指示する口座へ振り込まれてしまうというものです。

「還付金がある」「ATMへ行って」は還付金詐欺のキーワードです。

電話でこのようなキーワードを聞いたたら、**迷わずに家族や警察に相談**しましょう！

また、ATMの前で、携帯電話で通話をしながら操作をしている人を見かけ、不審に感じたら、店舗の職員や警察に連絡するなどして、被害防止へのご協力をお願いします。



本年もよろしくお願いたします。

安全・安心まちづくり推進室員一同